

# MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン用

## ワイヤレスリモコン(A制御用)

PAR-SL97A

据付工事説明書

この説明書は三菱電機パッケージエアコン スリムA制御用ワイヤレスリモコンの据付工事について記載しております。  
よくお読みのうえ、正しく据付けてください。

### 1 安全のために必ず守ること

- ・据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

|     |                                     |
|-----|-------------------------------------|
| △警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性があるもの   |
| △注意 | 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付くもの |

- ・お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ・お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

#### △警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。  
お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。

据付けは、重量に十分に耐える所に確実にこなう。  
強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。

改造、修理は絶対しない。  
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。

お客様自身で移設はしない。  
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。  
お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

据付工事は、この据付工事説明書に従い確実にこなう。  
据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。  
電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

#### △注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。  
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。

特殊環境には、使用しない。  
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

病院、通信事務所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分にこなう。  
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤作動や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。

本機を水洗いしない。  
感電、故障の原因になることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。  
変形、故障の原因になることがあります。

浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。  
壁が結露するような場所は避けてください。  
感電、故障の原因になることがあります。

酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへ据付けない。  
感電、故障の原因になることがあります。

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。  
火災、故障の原因になることがあります。

濡れた手でボタンを操作しない。  
感電、故障の原因になることがあります。

ボタンを先のとがった物で押さない。  
感電、故障の原因になることがあります。

## 2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

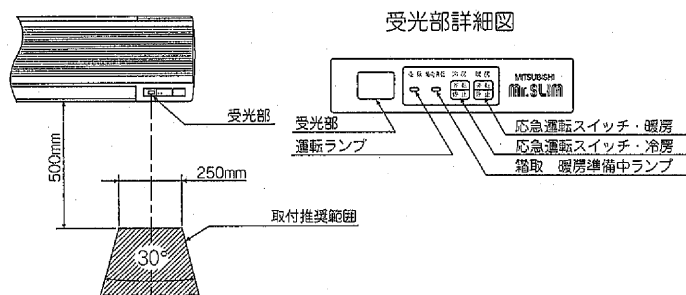
| 部品名称          |   |
|---------------|---|
| ワイヤレスリモコン操作部  | 1 |
| リモコンホルダー      | 1 |
| 単4形アルカリ乾電池    | 2 |
| タッピンネジ 4.1×16 | 2 |

## 3 据付方法

● リモコンホルダーを付属しております。紛失などを防ぐためにご使用ください。

● リモコンは下記の場所に取付けてください。

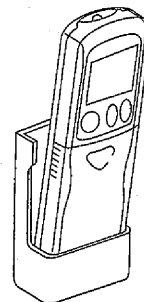
- 直射日光の当たらない場所
- 近くに熱源のない場所
- ユニットからの冷風（または温風）が当たらない場所
- リモコンの操作が容易で、表示部がよく見える場所
- 幼児の手が届かない場所



### 【お願い】

- ※ 室内に蛍光灯が取り付けられている場所には蛍光灯を点灯させ、室内ユニットが信号を受信することを確認した位置へ取付けてください。室内ユニットが信号を受信すると“ピッ”と音がでます。（壁面、天井などの反射により上図以外の範囲でも受信可能です。）
- 電子式点灯方式の蛍光灯（インバータ蛍光灯など）を付けた室内では、信号を受け付けられない場合があります。
- ※ 受光距離は、直線で約7m程度です。受光範囲は左右約45°程度です。
- ※ テレビ、ラジオより1m以上離れた場所に取付けてください。（画像の乱れや、雑音が生じることがあります。）

● リモコンの取付けは、付属のタッピンネジを使用してリモコンホルダーを壁面に固定した後に、リモコンをリモコンホルダーにはめ込みます。



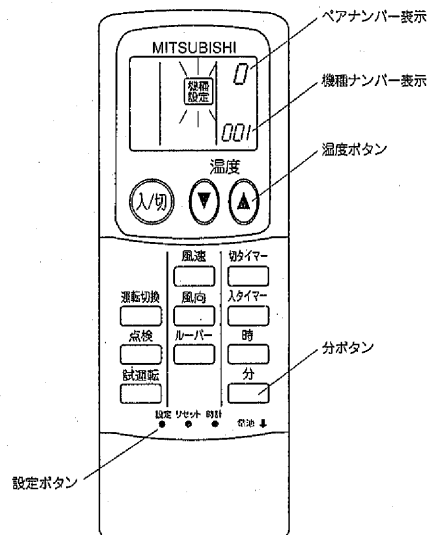
## 4 ペアナンバースイッチ設定方法

- ワイヤレスリモコンで“操作”するユニットを指定するための設定です。
- 室内制御基板のJ41、J42（ジャンパー線）設定とワイヤレスリモコンのペアナンバースイッチ設定を行います。
- ペアナンバースイッチの設定は、右表A～Dの4パターンが可能です。室内制御基板のペアナンバースイッチ（J41、J42の設定）と使用するワイヤレスリモコンのペアナンバースイッチ設定を行い、右表のように合わせます。※工場出荷時はパターンAとなっています。

| ペアナンバースイッチ設定パターン | リモコン操作部側<br>ペアナンバースイッチ設定 | 室内制御基板側<br>ジャンパー線切断箇所 |
|------------------|--------------------------|-----------------------|
| A                | 0                        | 切断せず                  |
| B                | 1                        | J41切断                 |
| C                | 2                        | J42切断                 |
| D                | 3～9                      | J41、J42切断             |

### [ワイヤレスリモコンペアナンバースイッチ設定操作]

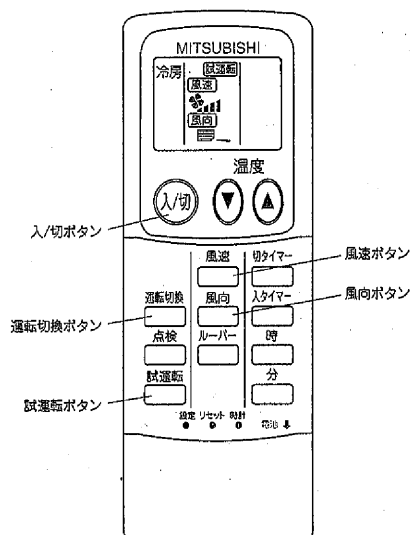
1. 設定ボタンを押します。（先の細いもので押して下さい。）  
リモコン表示が停止の状態から操作してください。  
**機種設定** が点滅、機種ナンバー（3桁の数字）が点灯表示します。
2. **分** ボタンを、2回連続押します。  
ペアナンバースイッチが点滅表示します。
3. **温度** ボタンを押して設定したいペアナンバースイッチに合わせます。
4. 設定ボタンを押します。（先の細いもので押して下さい。）  
設定されたペアナンバースイッチが3秒間点灯した後、消灯します。



### ●設定例

|                                      |                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>単 独</p>                           | <p>(1) 同一設定<br/>●各ユニットは同一のワイヤレスリモコンで操作できます。</p> <p>(2) 個別設定<br/>●各ユニットは各々固有のワイヤレスリモコン以外では操作できません。</p> <p>●室内制御基板とワイヤレスリモコンのペアナンバースイッチは全て同一に設定します。</p> <p>●各ユニットはワイヤレスリモコンの受光範囲内に据付けられるか、あるいはワイヤレスリモコンの操作者が移動して、ワイヤレスリモコンを操作してください。</p> |
| <p>同時<br/>ツイン・<br/>トリプル・<br/>フォー</p> | <p>●どの室内ユニットが受信しても運転します。</p> <p>例はトリプルの場合</p>                                                                                                                                                                                          |
| <p>グループ<br/>制御</p>                   | <p>●親機（冷媒アドレス0）、子機（冷媒アドレス1、2、3）のどれが受信しても運転します。</p>                                                                                                                                                                                     |

## 5 試運転方法



### [操作手順]

1. 電源を入れる
2. **試運転** ボタンを2回連続押します
3. **運転切換** ボタンを押します
4. **風速** ボタンを押します
5. **風向** ボタンを押します
6. 室外ユニットのファンの運転を確認します
7. **入/切** ボタンを押します  
または  
**試運転** ボタンを2回連続押します

※電源投入後約2分間は、システム立上げ中です。

- “**試運転**” 及び運転内容を表示します。
- リモコン表示が停止の状態から操作してください。

- 運転モードが冷房⇄暖房に切り替わります。

冷房 …… 冷風の吹出しを確認  
暖房 …… 温風の吹出しを確認 (少し時間がかかります)

- 風速が変化することを確認します。

- オートパーンの作動を確認します。

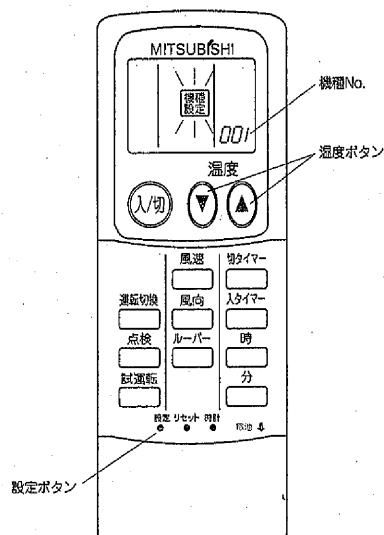
● 室外ユニットは、ファンの回転数をコントロールし能力制御をしています。そのため外気の状態によっては、ファンは低速で回り、能力不足にならない限りその回転数を保持します。従って、そのときの外風によりファンが停止又は逆回転となることがありますが、異常ではありません。

- 試運転が解除されます。

- 試運転は、2時間の**切**タイマーが作動し、2時間後に自動的に停止します。
- 同時ツイン・ドリブル・フォーの場合は、全ての室内ユニットが確実に運転することを確認してください。誤配線等でも異常表示しない場合があります。

## 6 冷房専用設定方法

■ ワイヤレスリモコンを冷房専用機種用に設定できます。



### [操作手順]

1. 先の細いもので設定ボタンを押します
2. **温度** ボタンを押して機種No.を“033”に合わせます
3. 先の細いもので設定ボタンを押します

- “**機種設定**” が点滅し、機種No. “001” が点灯します。

- “**機種設定**” および機種No. “033” が3秒間点灯した後、消灯します。

- **入/切** ボタンを押してワイヤレスリモコンを表示させ、運転切換ボタンを押すことにより運転表示が「送風→冷房→ドライ→送風→ ……」の順に切り替わることを確認してください。

## 7 機能選択

リモコンより必要に応じて各機能を設定します。各ユニットの機能選択はリモコンからのみ設定可能です。

表1より機能選択が必要な項目を選択してください。

なお、ワイヤレスリモコン操作部からはワイヤレス機種が接続された冷媒系統のみ設定可能です。ワイヤレスリモコン操作部では冷媒アドレス指定はできません。

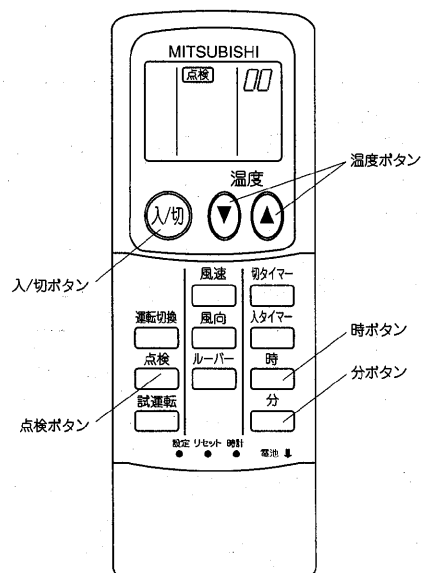
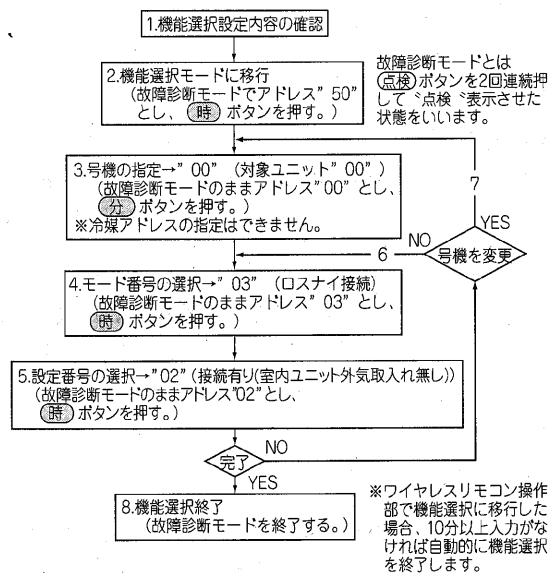
表1 機能選択内容（各室内ユニットの出荷時設定内容、モードについての詳細は室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

| モード    | 設定内容                | モード番号 | 設定番号 | チェック欄 | 対象号機 |
|--------|---------------------|-------|------|-------|------|
| 停電自動復帰 | 無し                  | 01    | 01   |       | 00号機 |
|        | 有り                  |       | 02   |       |      |
| 室温検知位置 | 同時運転室内ユニット平均        | 02    | 01   |       |      |
|        | リモコン接続室内ユニット固定      |       | 02   |       |      |
| ロスナイ接続 | 接続無し                | 03    | 01   |       |      |
|        | 接続有り（室内ユニット外気取入れ無し） |       | 02   |       |      |
|        | 接続有り（室内ユニット外気取入れ有り） |       | 03   |       |      |

お願い 工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を表中のチェック欄に○印等で記入してください。

### 【機能選択の流れ】

まずは機能選択の流れをつかんでください。ここでは【表1】の“ロスナイ接続”を“接続有り（室内ユニット外気取入れ無し）”の設定为例に説明します。実際の操作については下記操作手順をご覧ください。



## [操作手順]

### 1. 機能選択の設定内容を確認してください。

機能選択にて設定内容を変更した場合、そのモードの設定内容が変わります。2～8に従い現在の設定内容を確認し、【表1】のチェック欄に記入の上、設定を変更してください。

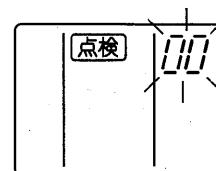
### 2. [点検] ボタンを2回連続押します。

(リモコン表示が停止の状態から操作してください。)

→ [点検] が点灯表示し“00”が点滅表示します。

▼ 温度ボタンを1回押して“50”に合わせます。

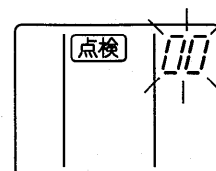
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら [時] ボタンを押します。



### 3. 室内ユニットの号機を合わせます。

▲、▼ 温度ボタンを押して室内ユニットの号機に合わせます。

ワイヤレスリモコン受光部に向けながら [分] ボタンを押します。



00号機

[分] ボタンにて号機を入力することにより、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのか知りたい場合はこれにより確認してください。なお、号機が“00”“07(室内ユニットの据付工事説明書のAL号機と同じ意味付けとなります)”の場合は同一冷媒内の全室内ユニットが送風運転します。

※設定できない号機を入力した場合は、ブザー音“ピーピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒)”が出力(ブザー音のみ出力)されます。この場合は、再度号機を入力し直してください。

※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、ブザー音“ピピッ”出力)は、再度号機を入力し直してください。

### 4. モード番号の選択

▲、▼ 温度ボタンを押して設定したいモード番号に合わせます。

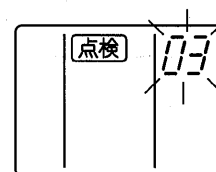
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら [時] ボタンを押します。

→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する現在設定値を出力します。

出力は現在設定値=1→ピー(1秒)×1回

2→ピー(1秒)×2回

3→ピー(1秒)×3回



モード番号 03 ロスナイ接続

※設定できないモードを入力した場合は、ブザー音“ピーピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒)”が出力(ブザー音のみ出力)されます。この場合は、再度モード番号を入力し直してください。

※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、またはブザー音“ピピッ”出力)は、再度モード番号を入力し直してください。

### 5. 選択したモードの設定番号を入力します。

▲、▼ 温度ボタンを押して設定番号を選択します。

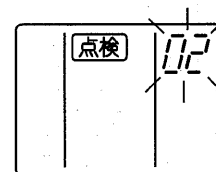
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら [時] ボタンを押します。

→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する設定番号を出力します。

設定番号=1→ピーピー(0.4秒+0.4秒)×1回

2→ピーピー(0.4秒+0.4秒)×2回

3→ピーピー(0.4秒+0.4秒)×3回



設定番号 02 接続有り  
(室内ユニット外気取入れ無し)

※設定できない番号を入力した場合は、元々設定されていた番号に設定されます。

※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、またはブザー音“ピピッ”出力)は、再度設定番号を入力し直してください。

### 6. 室内ユニットの号機を変更せずに、更に他のモードを設定する場合は4.、5. を繰り返してください。

### 7. 室内ユニットの号機を変更して、機能選択を行う場合は3. ～5. を繰り返してください。

### 8. 機能選択を終了します。

⏻ ボタンを押します。

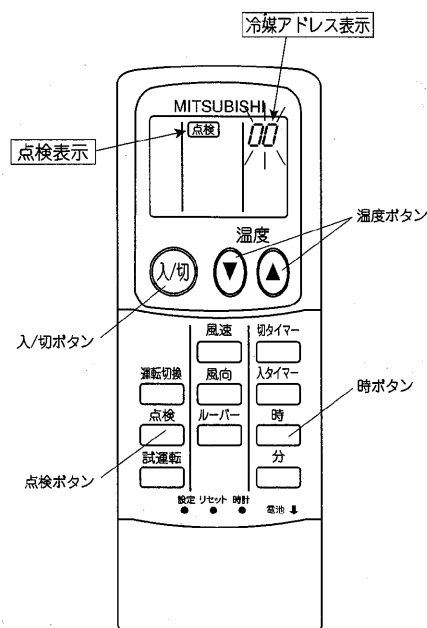
機能選択終了後、30秒間はワイヤレスリモコンより操作しないでください。

## 【お願い】

工事完了後、機能選択により室内ユニット機能を変更した場合は、必ずすべての設定内容を表のチェック欄に○印等で記入してください。

## 8 自己診断

### [操作手順]



1. **点検** ボタンを2度押します
  - “**点検**” が点灯し、冷媒アドレス表示 “00” が点滅します。
  - リモコン表示が停止の状態から操作してください。
2. **▼**、**▲** 温度ボタンを押します
  - 自己診断を行なう室内ユニットの冷媒アドレスに合わせます。
  - ※冷媒アドレスの設定は室外ユニットディップスイッチ (SW1) にて行ないます。  
( 詳細は室外ユニットの据付工事説明書をご覧ください )
3. 室内ユニット受光部に向けながら **時** ボタンを押します
  - このとき、エアコンに異常がある場合室内ユニット受光部からブザーの断続音、運転ランプの点滅により、点検コードを出力します。
4. 室内ユニット受光部に向けながら **入/切** ボタンを押します
  - 点検モードが解除されます。

●点検コードの出力内容は下表をご覧ください。

| 点検コード | 不具合内容               | ブザー音    | 運転ランプ          |
|-------|---------------------|---------|----------------|
| P1    | 吸込みセンサー異常           | ピー×1回   | (1秒)×1回        |
| P2    | 配管センサー異常            | ピー×2回   | (1秒)×2回        |
| P4    | ドレンセンサー異常           | ピー×4回   | (1秒)×4回        |
| P5    | ドレンオーバーフロー保護作動      | ピー×5回   | (1秒)×5回        |
| P6    | 凍結／過昇保護作動           | ピー×6回   | (1秒)×6回        |
| P8    | 配管温度異常              | ピー×8回   | (1秒)×8回        |
| U2～UL | 室外ユニット不具合           | ピーピー×1回 | (0.4秒+0.4秒)×1回 |
| F1～F9 | 室外ユニット不具合           | ピーピー×1回 | (0.4秒+0.4秒)×1回 |
| E4～E5 | リモコンー室内ユニット間の通信異常   | 上記以外    | 上記以外           |
| E6～EF | 室内ユニットー室外ユニット間の通信異常 |         |                |
| ---   | 異常履歴無し              | 出力しない   | 消 灯            |
| FFFF  | 該当ユニット無し            | ピーピーピー  | 消 灯            |

室外基板のLED表示を確認してください。